

腎シリーズ！

第5弾

～人工透析から見る糖尿病～

腎臓は、体に必要なものを体内に戻し、不要なものは尿として排泄し、血液をきれいにする働きをしています。この腎臓の働きができなくなると人工透析でその役割をします。

今回は人工透析導入患者数の推移から、なぜ糖尿病が腎臓を傷めてしまうのかについてご紹介します。

人工透析の原因第1位は糖尿病

下記のグラフは年別透析導入に至った患者さんの原因疾患の割合の推移を示したものです。

44・2%の方が糖尿病から腎症を発生し透析導入になっています。つまり、人工透析になった原因疾患で一番多い病気が糖尿病なのです。

糖尿病性腎症とは？

糖尿病の合併症の一つです。糖尿病が長く続くと、血液をろ過して尿を生成する腎臓の「糸球体」という部分が傷んで、たんぱく尿が出ます。さらに進むと腎臓の血流が低下し血液をろ過して尿をつくる機能が著しく低下することになります（この状態が慢性的に進むのが慢性腎不全です）。現在、人工透析になる方の44・2%がこの糖尿病性腎症です。

年別透析導入患者の主要原疾患の推移

